

I GOT
SUMMER
HOLIDAY
GAMES
WORK



転生したら
ゲイ向け
RPGの
世界だった
件に
ついて。



ほわー

ここが
水の街
ヨウツベメルカリ
ラクテン市場……

ようやく
着きましたね

ああ……
一時はどうなるかと
思ったが

すげー
名前はさておき
流石RPGの
世界だなー

あーるびーじー？
……何だそれは
新しい技の名前か？

あ……いや……
何でもありません
こっちの話です



よりにもよって
同人販売用の
ゲイ向けRPGの
世界に

そう：：
俺は今
RPGの
世界にいる



事の発端は
突然の事故死

通勤中
トラップに
撥ねられ

気がつく
真暗な
異空間に
俺はいた

そこで聞こえた
自称「天の声」の
仕業で
俺は強制的に
転生させられ
この世界に飛ばされる
はめに……



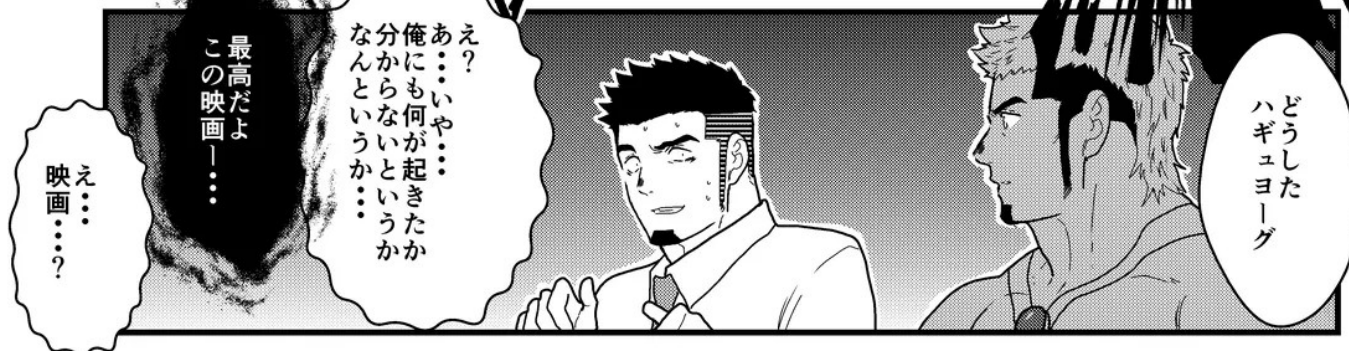
そして
道中
仲間になった
この世界のキャラ達



武闘家
ゼルノスさん

魔導士
ミカエラさん

剣闘士
ガルグさん





デメエ!!!
人がこの世界で頑張ってる時に
何悠長に感動してやがんだ
このクソ野郎!!!

その正体は
現実世界で
未来人で

同人販売用として
魂をゲーム内に
サルベージできる
ゲイ向けRPGを
製作し
そこに俺の魂を
転生させた張本人である

うえッうえッ
タロー・
ジロー・

もう泣きやめよ
お前うるせえから

賣方こそよくこの感動映画を前にして冷静に前回までのあらすじの説明なんて出来ませんね!!!心はないんですか!!!

いやはや……
前にするも何も……
お前が勝手に
見てるだけだろ

この人でなし!!!
変態鬼畜野郎
萩洋一め!!!

[illegible]

ミカエラさん

確かの街に
用があるとか
なんとかな
…

ジタ
口口
丨丨
!!!!

うるせえッ
!!!

はい……

この街には
力を貸してもら
う
為に来たんです

力って……

伝説の力……

この世界の
火・水・地
それぞれを司るもの……
その中で
水にあたる力を持つと
言われる……



リヴァイアサン…



り…

リヴァイアサン…？



リヴァイアサンって…
あのゲームによく
出てくる龍の…

げーむ…？

あ、
すんません
なんでもないです

そうか…
ミカエラも
神の力を借りる為に…

ええ…

俺も同じ目的だ
その為に
この街に来た…

黒の存在を
倒す為に…



黒の
存在…

そう…
この世界には
もう一つ
「黒の存在」という
謎のキャラがいる

天の声すらも
作っていないという
正体不明の敵…

…一体…
何なんですか？
その黒の存在って…

裏で魔物に力を
貸しているっていうのは
聞きましたけど…

…まだ
その存在自体は
分らない…

…ただ…



…え…？

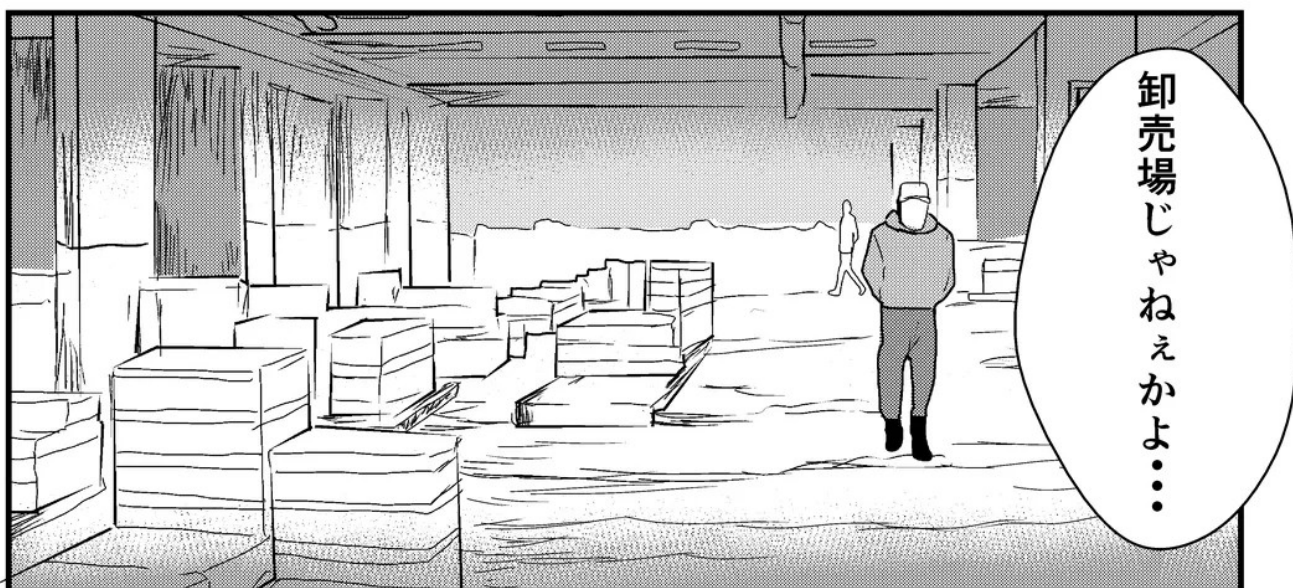
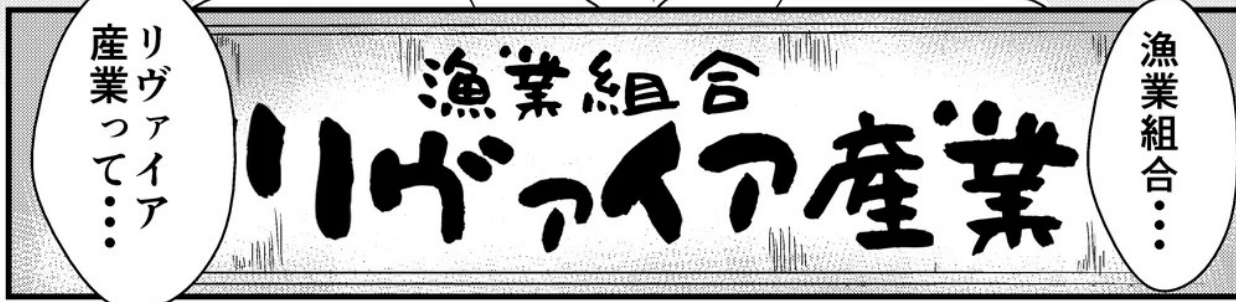
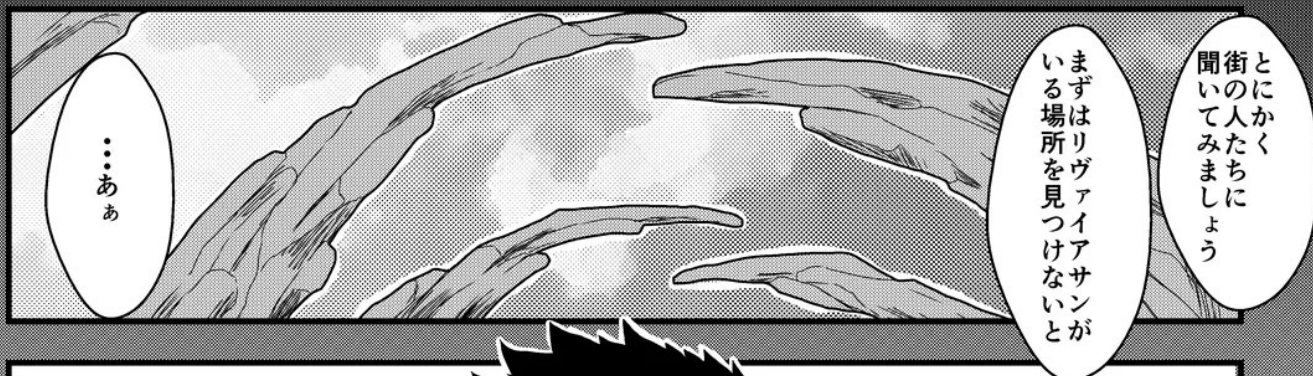


どうした？
ゼルノス

…いや…
何でもない…

…？





ここに……
伝説の力が……

いや
「ここに……伝説の力が……」
じゃねえよ!!!
何納得してんだよ
テメェら!!!

リヴァアイアサンって
言ったらアレでしょ!?
普通は水殿に眠る
ドラゴンとかさ……ッ

街の人達が言うから
確かだろ
とにかく行ってみようぜ

バカなの!?
あんたたち!!!

あの……
すみません

ここに
リヴァアイアサンが
いると聞いて……

ああ
リヴァアイアさんですか?

さん!?

社長なら
今セリ中ですよ

ほら

……!

あいよおお
おおおッ

あがいの
あがいの
あがいの
ッ

ちよんぶり
はい！

あーいよおおッ
あーがーいよおおッ

めっちゃ
セッてるーッ!!!

社長は珍しく
セリ人も自分で
やってるんすよ

あの…
これ絶対
人違いだと
思いますけど…

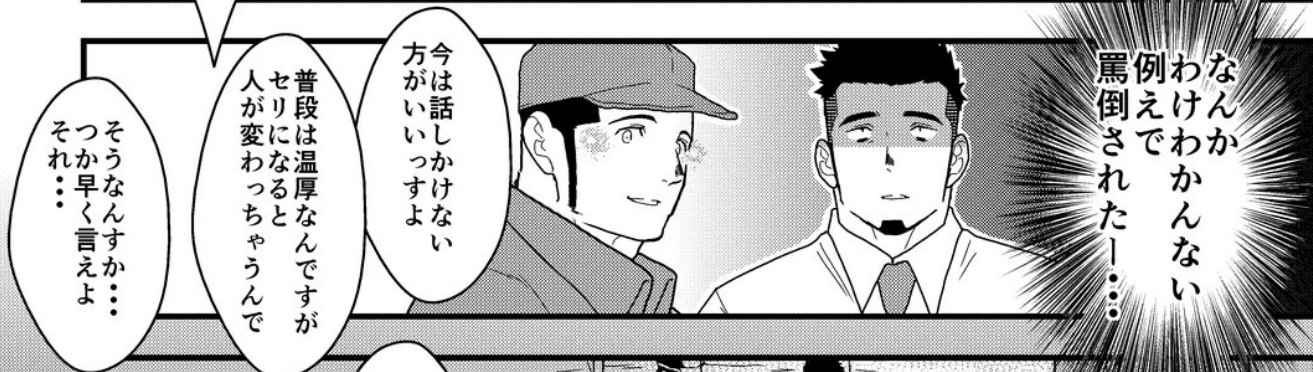
…いや…

あの力強い声…
漲るエネルギー…

ああ…

確かに
リヴァアイアサンですね…

どこがやねん!!!
どう見ても
市場のオッサンやん!!!
あんたたちって
ほんとバカ!!!





すまぬ……

せつかく
出向いてくれたのに
あんな言い方を
してしまった……



いや……いいですよ
イソギンチャク野郎は
意味わかんなかった
ですけど

お前が
かの有名な
勇者ハギユヨーグか

……はあ
そうなるんすかね
もうこの際
勇者じゃねえっていう
否定は控えときます



それで……
私の力を
借りたいと……

ええ
黒の存在に
立ち向かうには
リヴァイアさんの
力が必要なんです

すまぬ……
本来なら
私は水を司る者として
力を貸してやりたいが……

もう
リヴァイアサン
じゃなくて
リヴァイア「さん」
つつつてるし

今は
真の姿に
戻れなくなっ
てしまっているのだ……

真の姿って…
やっぱり
水龍…？

その通りだ
良く知っているな
勇者よ

いやまあ…
ゲームする人だったら
誰でも知ってるでしょ

でも…
何故戻れねえんだ？
この世界の守護神の
一つでもあるお前が…

…

何者かに
世界を
改変されて
しまったからだ…

改変…？

確かに私は
この世界の三大神として
創造主から据えられた
存在だった…

だが…

何者かが
この世界の理を
変えてしまった

私も…
いつの間にか
本来の姿にか
戻れなくなった
しまったのだ

水龍としてではなく…
人間という姿に…

そうか…
だからあんなにも
強大な魔物達が闊歩する
様になってしまったのか

守護神を貶め
魔物達に力を貸し
この世界の秩序を
乱す存在…

黒の存在…

ちやうとちよつと…
もうなんか
凄い事になってねえか？
これ…

でも……
だからって
何で水産業……

少しでも
民の力に
なりたかつた
からだ

新鮮な魚を
水揚げし

それを
よりよい形で
提供する……

人間の姿に
貶められたとはいえ
私は水の守護神……
民の為に何か
出来る事は
ないかと考え……

それがあの市場を
作った理由であ
私なりの誠意
持った仕事

なんか
情熱大陸みたいなど
話になってますけど
もうこの際
葉加瀬太郎の曲とか
かけときますか？

それでは……
貴方の力は……
今封印されている
状態……

神の力は
得られないと
いう事か……

すまぬ……
私も真の姿に戻れるのなら
お前達に
分け与えたいのだが……

今はこの通り
虜の身……

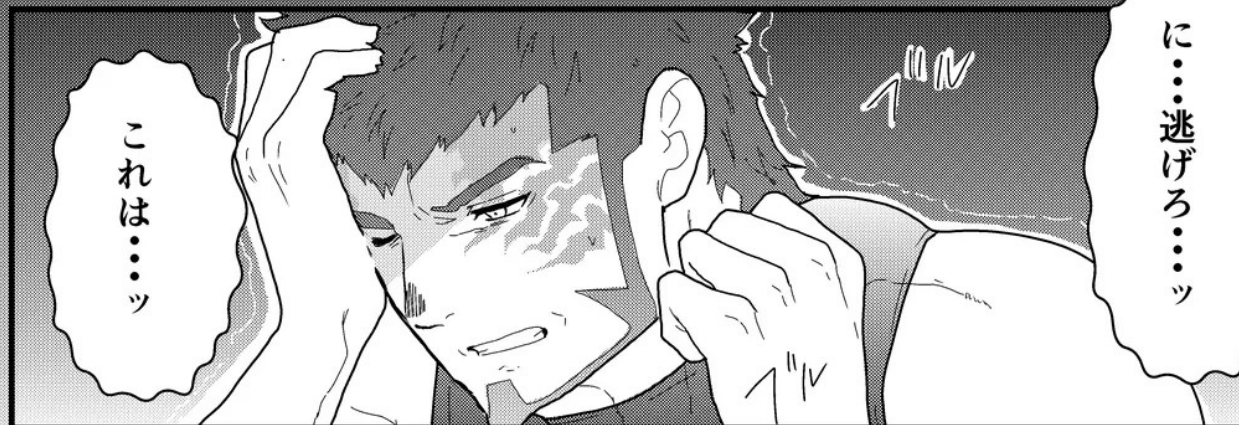


……うッ

ど……どうしたんですか？
リヴァアイアさん……

頭が……ッ
割れる様に……ッ







下等な
人間種族が…

我が前に
ひれ伏すがいい…



お前は…ッ！



これは…ッ

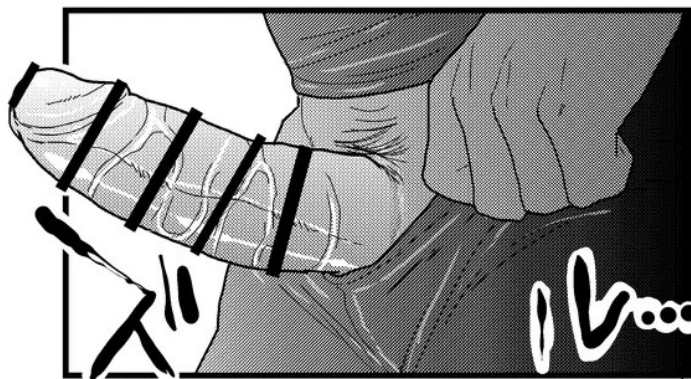
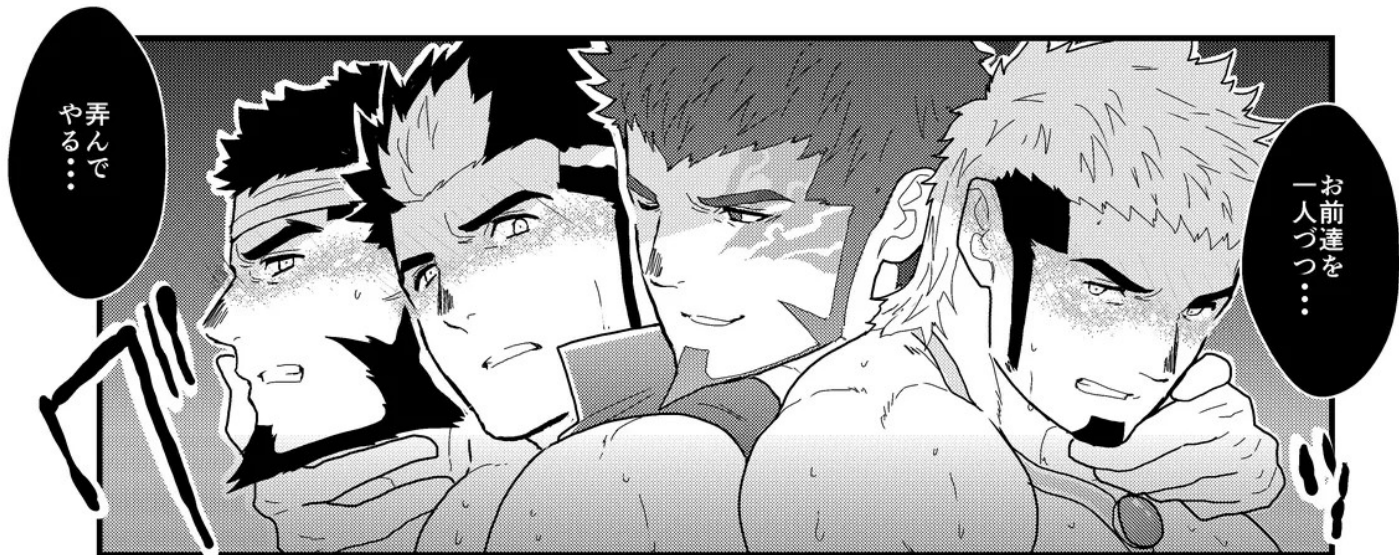
まさか…
意識を刺激されて
暴走を…ッ



り…
リヴァイアさん…？

どうし
ちゃったんですか…
急に…







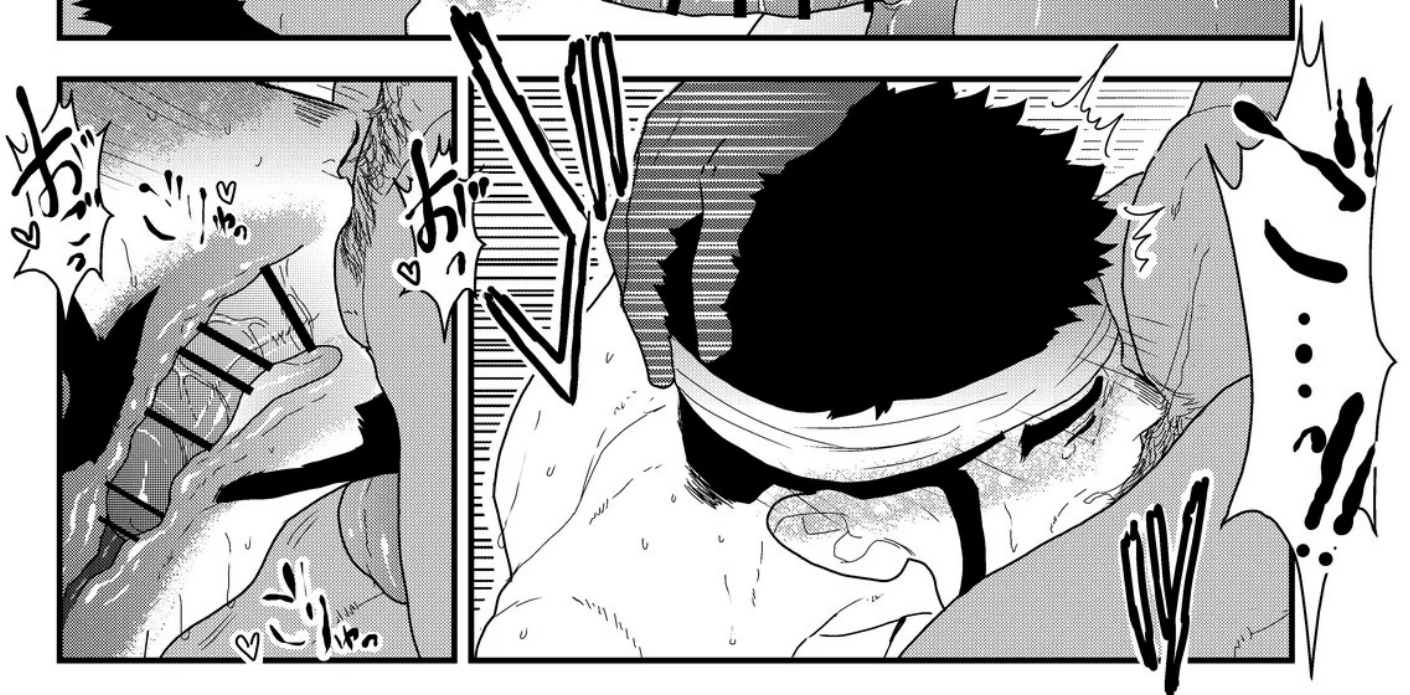
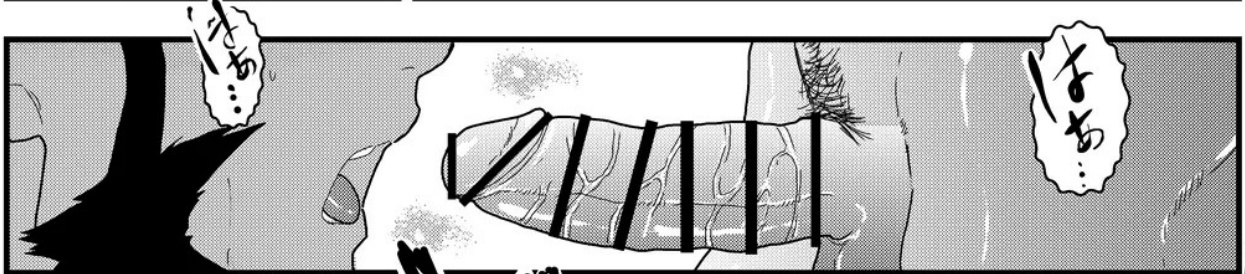
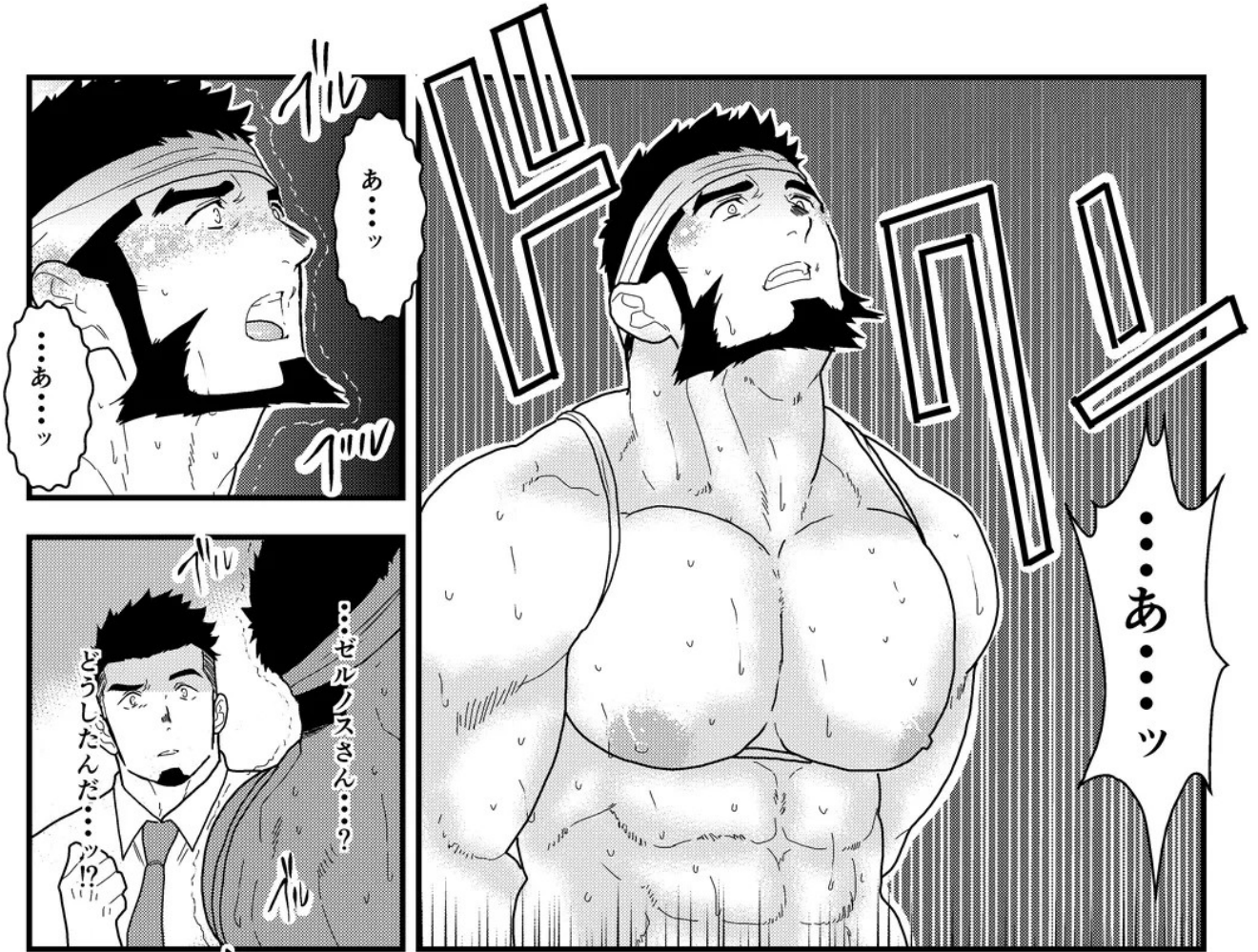




次は…

お前達で
楽しむとしよう…





凄
ない……
なんか凄
い事に
な
つ
て
る
ー
ッ
!!!



何だこの状況……ッ

もう急展開の
しつちやかめつちやか
過ぎて
何が何だか……ッ



所詮お前達も
こうなってしまうば
ただの操り人形と
同じ……

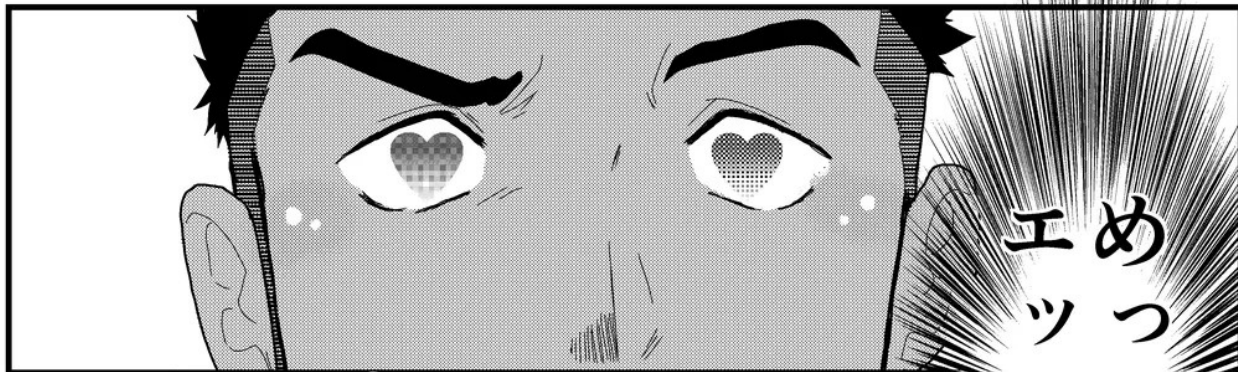
我が力を
貸すまでもない……



その程度だったと
いう事だ!!!



でも……ただ……
一つだけ
言える事は……



めっ
ちや
エ
ッ
ロー
☆



...なら...

中が
きつくなつて
きたな...

そろそろ
果てたくなつて
きたのか...?



仲間と思う存分
出してやるがいい!!!



あ...ッ

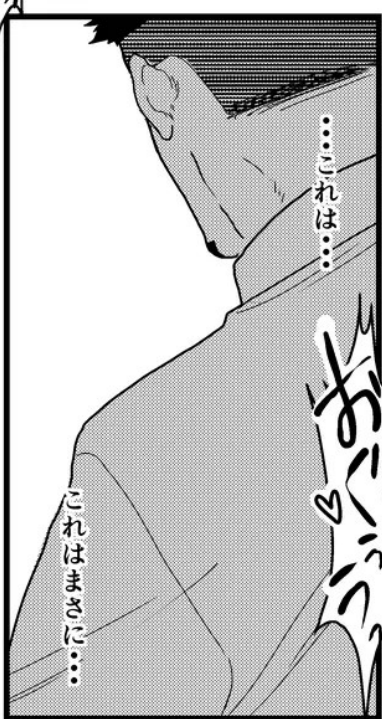
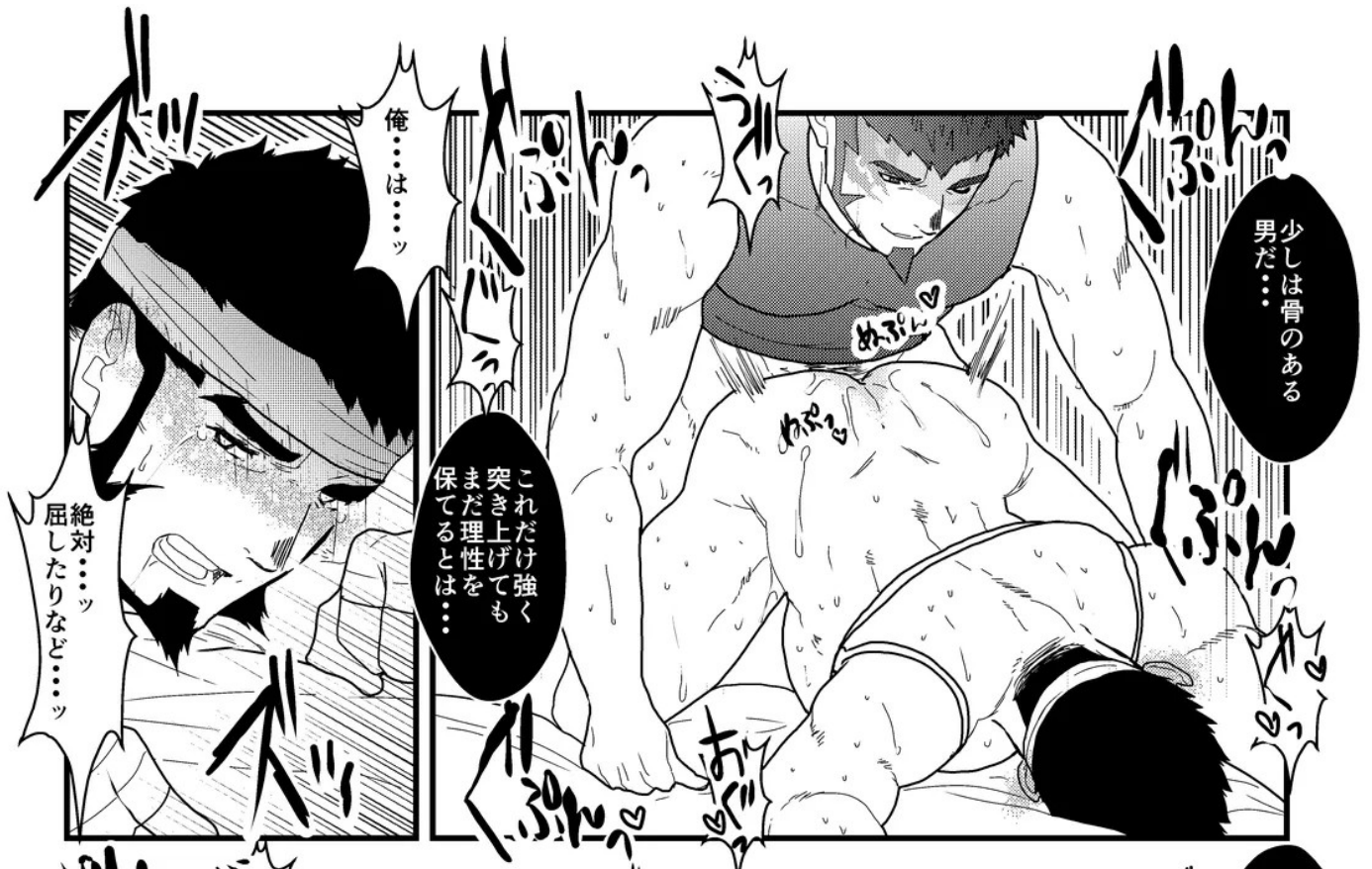
ああ...ッ



あ...ッ



まだ
もう一人...

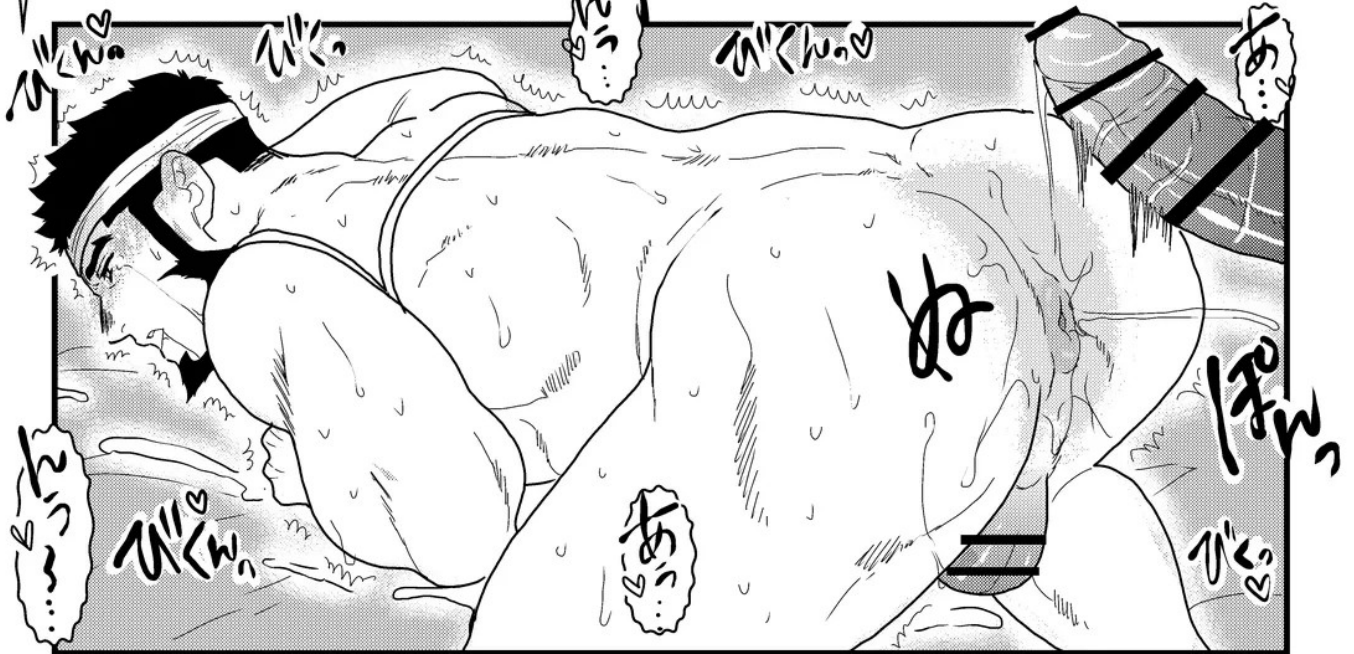
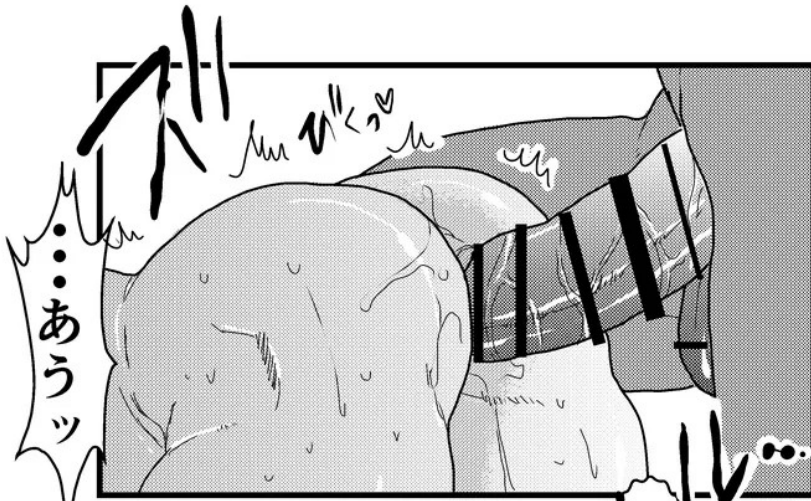


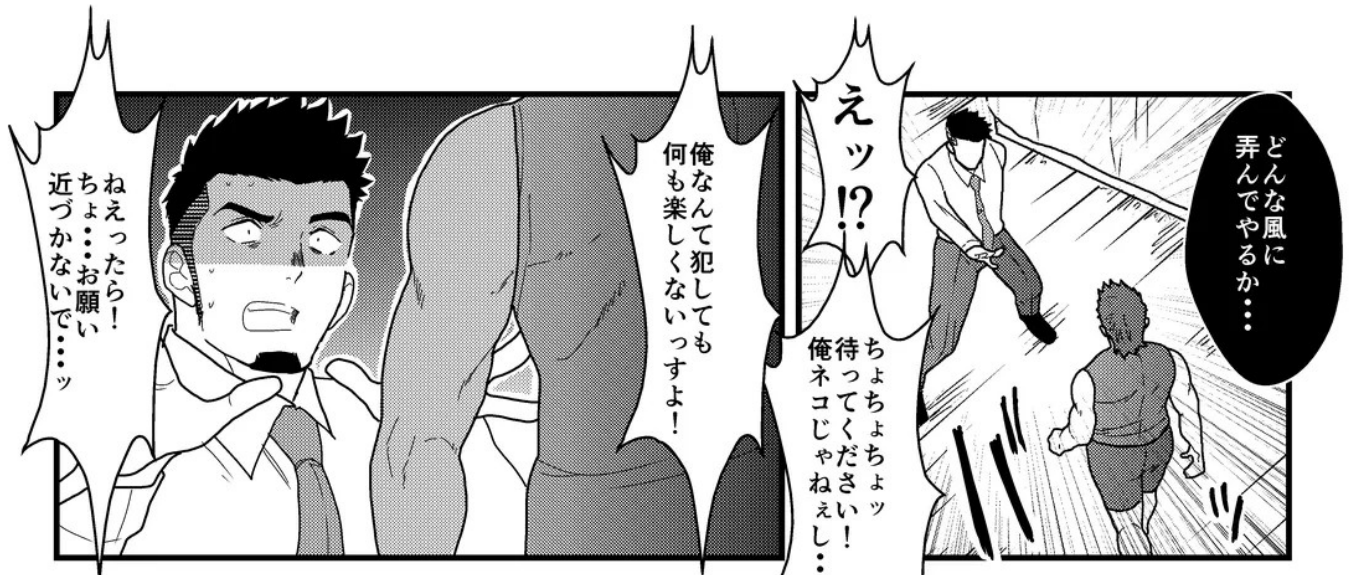
計画通り

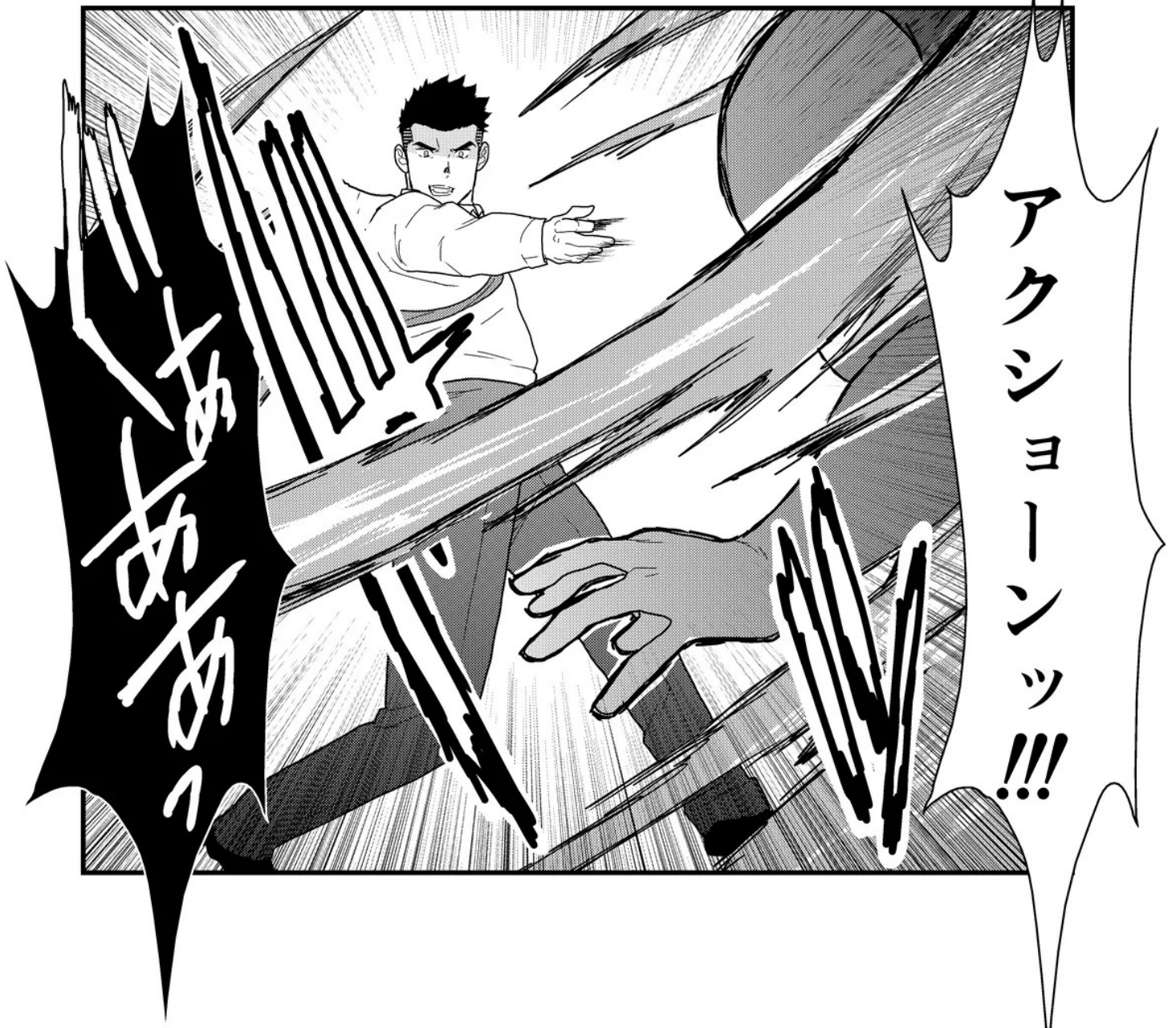
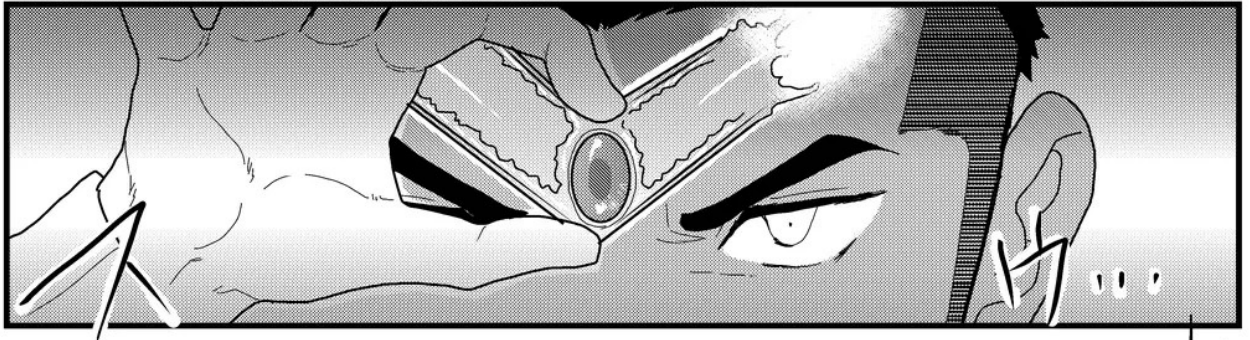
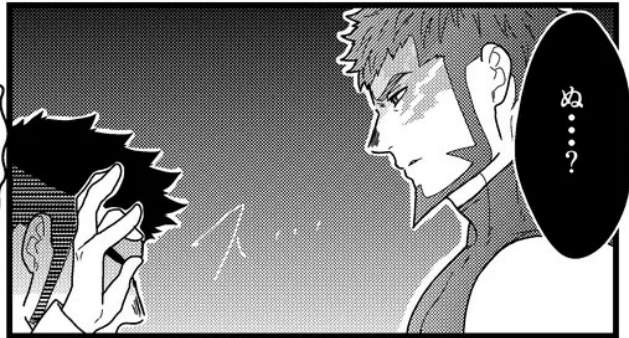
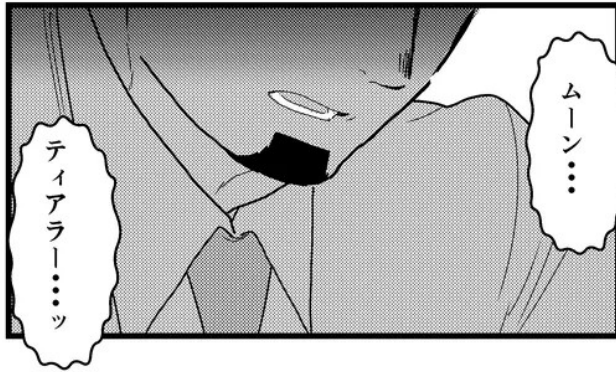


何がどうなっているのか
分らないが
この状況は俺にとっては眼福の瞬間…

鼻血を何度
流しても
足りねえくらいだ…









どうだ！
セーラーオーンの
力!!!



キマッタ...ッ



月にかわって...ッ



天の声...ッ

人が映画に
夢中になつてゐる時に
何がおしおきだよ



いや...これは...
なんだ...ッ
暴走した
リヴァイアさんを
止める為に...

お前...ッ
どの時点から
覗いてたんだ!!!

...いい歳こいた
オッサンが
ムーシントンて...
アクションって...



おしおきよッ!!!

何やってんすか
貴方

だいたい…
お前だって
映画見てる場合じゃ
ねえよ…

危うく
犯されかけたんだぞ
俺…

そうなんですか？
いつその事
もみくちゃに
されれば良かったのに

普段
仲間が犯されるのを
興奮しながら傍観してる
鬼畜野郎なんだから…

で…
誰に犯されそうに
なったんですか？
その者好きは…

それは…
そこにいる
リヴァイアさんに…

リヴァイアサン…？

…いや…
ただのガタイのいい
オッサンじゃないですか

そうだよ
ガタイのいい
オッサンだよ

真の姿に
戻れなくなったんだとよ
この世界の理が改変
されたかなんかで…

それで
急に眼の色が
変わって
暴走し始めて…

…は？
なんですか
それ

確かに
リヴァイアサンは
キャラとして
作りましたが

私ちゃんと
水龍としての姿で
作りましたよ？

それに…

世界の理が
変わったなんて
シナリオ…

わたし…し…
は…

…おい…
どうした？
天の声…

…聞こえなくなった…

また
バグが
生じたのか…？

…！

スウ…

…お前は…



誰だ……？



まさか……
お前……

お前なら
分かるだろう……？



……俺が
誰か……

そんな事……



お前には……

来たるべき時が
来るまで……

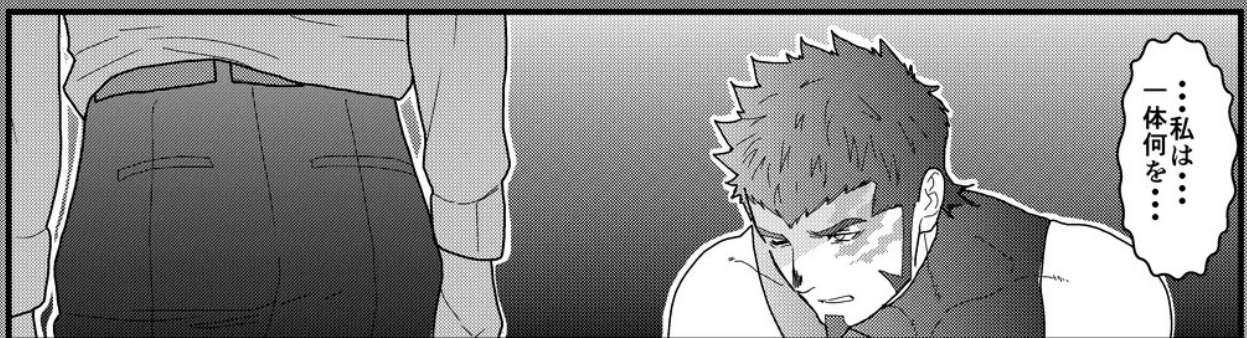
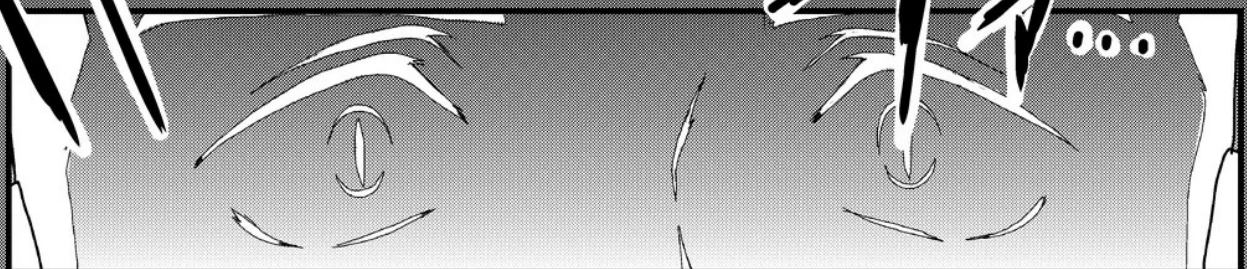
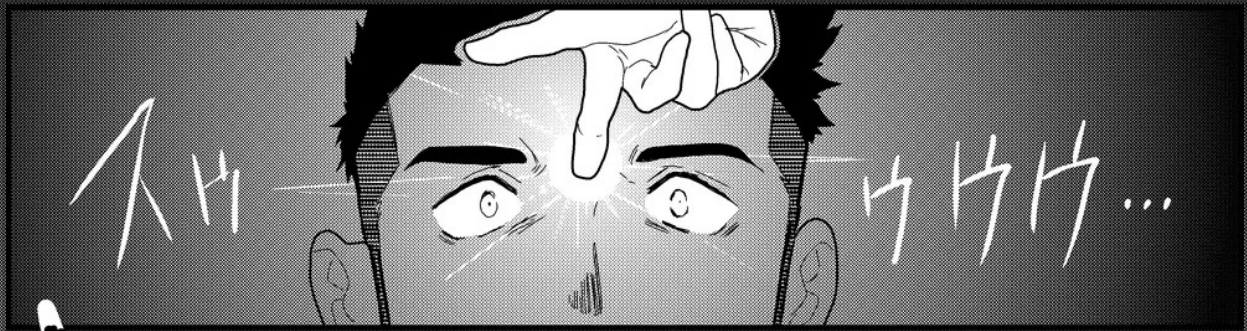
力をつけて
もらわなければ
ならない……

強くなれ……
萩洋一……



そう……
お前達が言う……

黒の存在……



あーん♡
すっかっ♡
すっかっ♡
あーん♡



どうした？
さっきまでの
威勢は



いざ掘られる
側になると
このざまかよ

…なら
逃げてみるよ…
お前なら出来るんだろ？



私は…ッ

あああん♡
あひッ
あーん♡

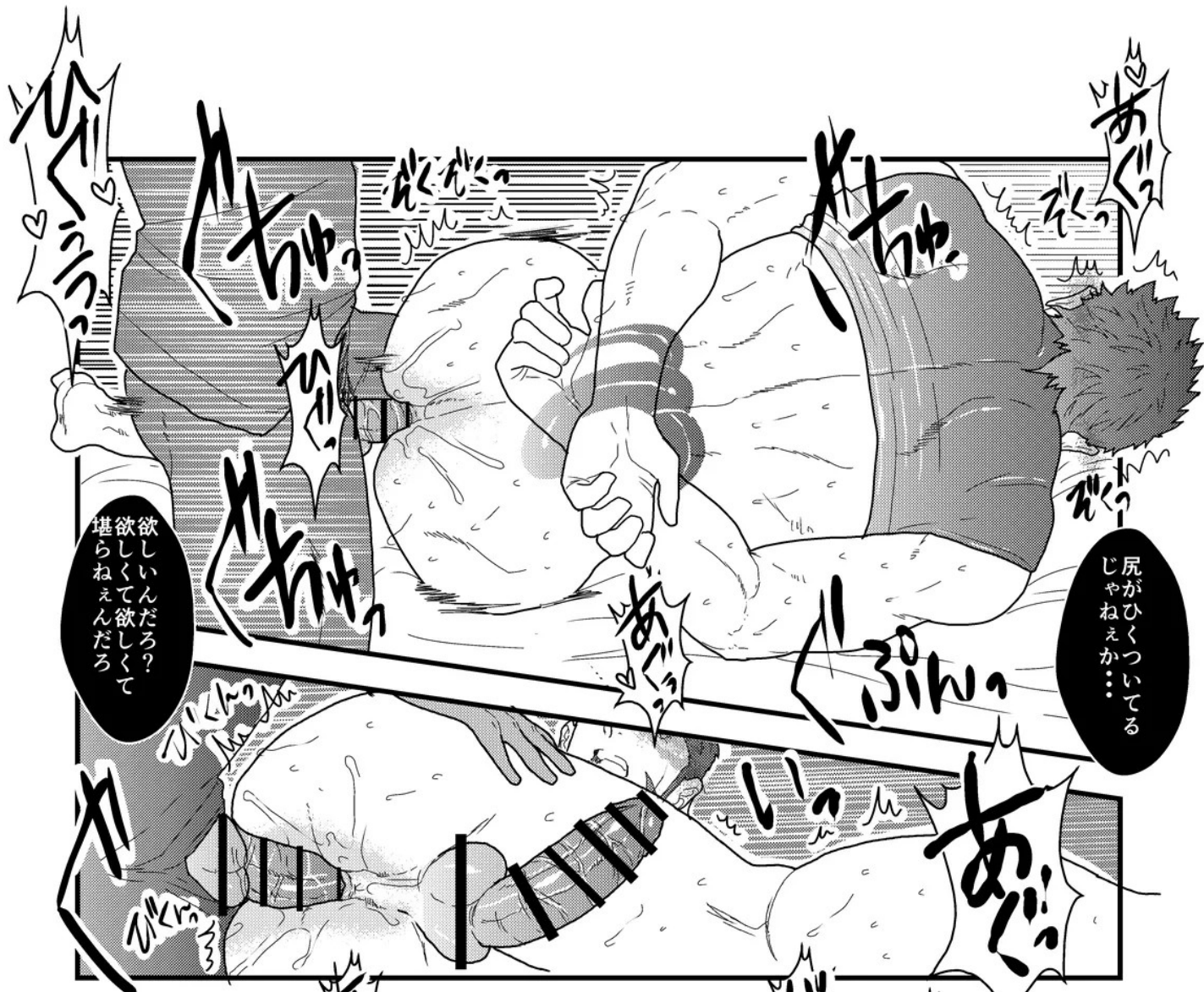
足は上げて
喘いでるお前は
恥ずかしくねえのか？

守護神なんて
所詮それくらい
存在だったのかよ

私や
……
はめ
……
ッッ

もつと
情けなく
泣いてみるよ









先に
出しやがって...
情けねえな...

まあいい...

中に
擦りこんで
やる...ッ

あッ

ああッ!!!

たっぷり
受け取れ...ッ

あーっ

ひくひん

ひくひん

ふん

ふん

ひく

ひく

ひく

ひく

ひく

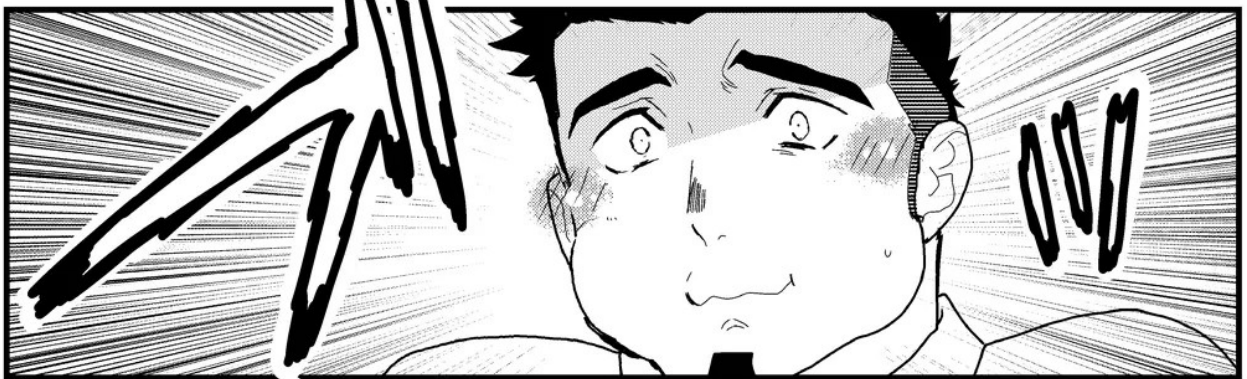
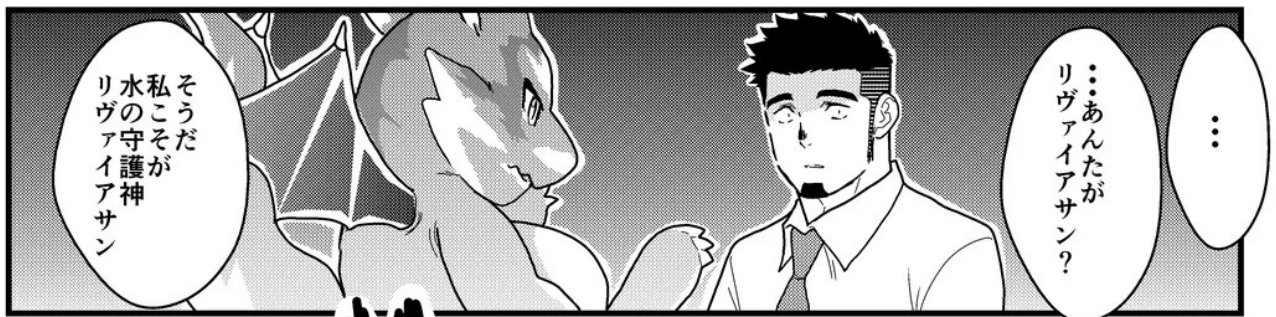
ひく

ひく

ひく









……って……

すみません
またバグが
発生しちゃった
みたいで
何度試しても
繋がらなくて……

何故なんでしょう……
最近
こういう事が
多い……



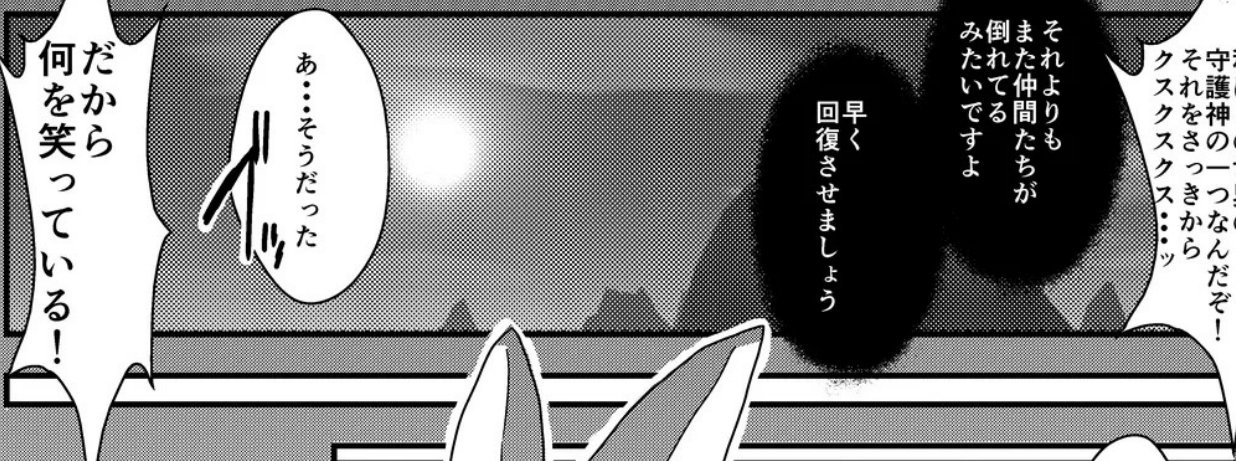
……あ……
繋がった

お
よう
天の
声



何が
おかしい!!!

なんですか
そのポ○モンみたいな
変なの



だから
何を笑っている!

あ……そうだった

それよりも
また仲間たちが
倒れてる
みたいですよ

早く
回復させましょう

曲がりなりにも
私はこの世界の
守護神の一つなんだぞ!
それをさっきから
クスクスクス……ッ



……そうですか
ようやく
リヴァイアサンの
力が……

……ああ……

とりあえずは
人間から
戻れる事が出来た

礼を言う

…しかし…
お前達には悪い事を
した様だ…

誰かに
意識を刺激された
とはいえ…

…何の事だ？

…覚えていないのか？

ああ…
貴方が
目の色を変えた所までは
覚えてるのだが…
それ以降は…

…

実は
私も覚えて
いないのだ…

意識が朦朧として…
気がつくまで勇者の前に…

…

…え？

い…いや…
俺も何も覚えてないっすよ！

な…
何があつたのかなー
なんちゃって…

…これも黒の存在の
仕業かもしれないね…

意図的に
私達の記憶を
消している可能性が…

そ…
そーかもね…



まあ毎回の事だから
もう突っ込む気力も
ありませんけど...

どうせ
見てたんでしょ
あんたの事だから

.....



そろそろ臭い
芝居はやめたら
どうですか？

この変態...

.....
ッ
!!!



でも
リヴァーアサンとの
一件は
本当に俺も
覚えてねえんだ！
この前の
ゼルノスさんの時も
そうだけど...

ほんとですか？
にわかに信じがたいん
ですが...
貴方何しでかすか
分かんないから...

本当だっ
嘘ならも
上手に嘘
をつくら
わ！



だいたい...
お前に嘘ついて
どうすんだよ
四六時中監視
されてる様な
もんなのに...

...まあ...
それもそうですね...
一理あります



...どうしたんですか？



だとしたら...
貴方のその記憶も
他のキャラと同様
黒の存在というものが
消しているんでしょうか...

.....





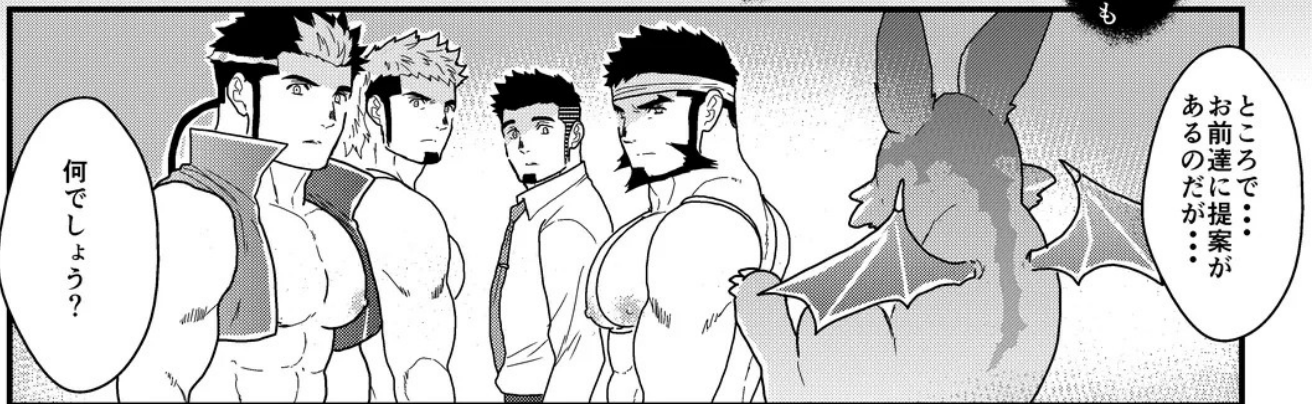
…分かりました
私もその件については
もう一度こちらで
調べてみます

もしかしたら…
私達が思うよりも
ずっと危ない存在かも
しれない…

黒の存在…
それは…

貴方を狙って
いるのかも
しれませんから…

…ああ…
頼む…



ところで…
お前達に提案が
あるのだが…

何でしょう？



私はこの通り
まだ完全体という
わけではない…

ある程度の
力は得られたが
本来の姿に戻るには
まだ力が足りぬのだ…

そこで…

私も共に
旅に赴く事は
出来ぬだろうか…

私もこの世界を変え
私存在すらも
貶めた黒の存在というものを
この目で確かめたい

そして…
祖奴が…
元凶ならば
私も守護神の名において
野放しには出来ぬ…

それに…
共に旅をする事で
本来の力を取り戻す事が
出来るかもしれない…

今のままでは
お前達の望む
力を貸す事は
出来ぬ…

だから…

でも…
この街の水産業は
どうするんですか？

貴方がいなくなったら
セリが…

それならば
心配はいらぬ

ちゃんと
後を継いでくれる者が
いる

お前達が
最初に訪ねた
あの青年がそうだ…

あ…
あの子…

そうか…
そういう事なら
断る理由もねえ

水龍様が
俺達と共に
いるのなら
更に心強くなるしな

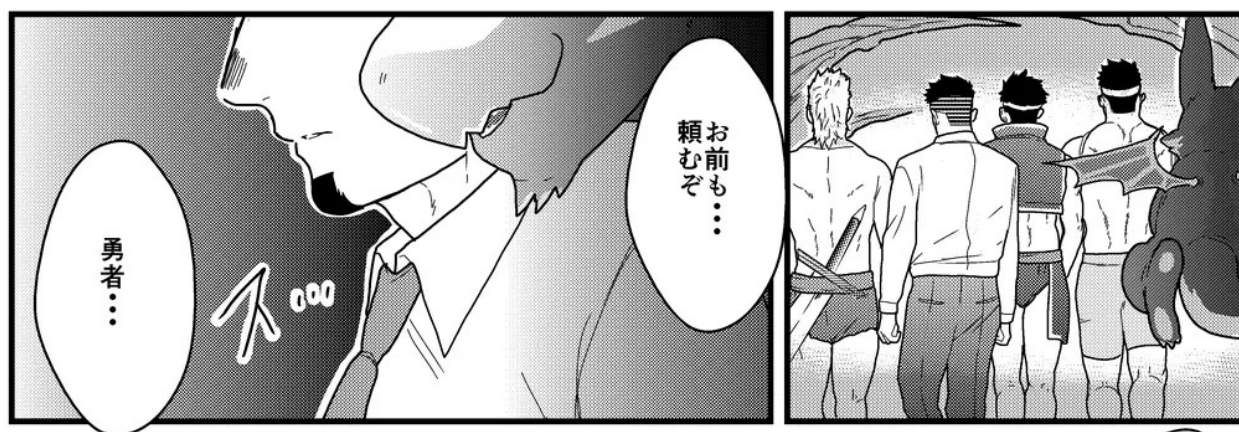
そうですね
本来の目的は
守護神である貴方に
力を貸してもらう
為ですし…

ああ…
それなら
俺も異論はない

黒の存在を
追いつめ…

奴の正体を
暴くためにも…

…！





あとがき雑談

わっしょい！

てなわけでも、碇夕でございます。

最近**家電が壊れる壊れる！**

こういうのって立て続けに壊れると言いますが、
本当ですね。

ついに布団乾燥機まで壊れてしまいました。

つっても、本体が壊れたわけではなく、温風を届ける筒？のようなものが
壊れただけなので、まだまだ使えますが……。

なんだか最近テレビも調子悪いし……ヤバスです。

私ケチなので、ちよつと壊れただけでは買いなおさないタイプなのです。

昔からお金がない貧乏家族の一員として育ったので、

おばあちゃんやおかあちゃんから、金は命より大事と言われ続けてきたので、
そのせいもあるかと……くそー！変な事教えやがって！

てなわけで、まあ下らない話は置いて……。

はい！出来ました！

今回はまたまた続きものになります。

どうなの……これ……。

一応、ちゃんと終わりは考えているのですが、

うまくたためるのかどうか……。

多分たためません☆（おい

でも、こんなへたっぴな漫画でも、このあとがき雑談まで読んでくれた方！

毎度ながら本当にありがとうございます！

成長というものを知らない私ですが、それでも読んでくれた事に凄く凄く感謝しています！

また続きを描くと思います。もし気になってくれたなら幸せです……。

それではまた！
ばいならつきよ！

碇夕よい。